

阿蘇の新たな名物に！

# 阿蘇のお土産 お菓子コンテスト

グランプリは、熊本農業高校食品加工クラブの「阿蘇 de タルト」！



グランプリを受賞した熊農食品加工クラブの皆さん

準グランプリ作品



阿蘇五岳ジャムライス  
ケーキお土産セット

グランプリ作品



阿蘇 de タルト

## コンテスト結果

### グランプリ

「阿蘇 de タルト」

熊本農業高校食品加工クラブ（熊本市）

### 準グランプリ

「阿蘇五岳ジャムライスケーキ  
お土産セット」

阿蘇清峰高校食品コース  
プロジェクトチーム（阿蘇市）

### 奨励賞

「阿蘇の燃える恋心」

山田 千代美（合志市）

「まるごと ASO Pie」

瀬井 香織（阿蘇市）

「緑の草原米塚ッケーキ」

後藤 里美（熊本市）

「さと芋かるかん 大地のめぐみ」

坂梨 千秋（阿蘇市）

### 審査員特別賞

「阿蘇丸せんべい」

綾 優佳（阿蘇市）

「簡単!!阿蘇野菜サクサククッキー」

井手 キミ子（阿蘇市）

市では、阿蘇の新たなお土産となりうる「お菓子」のコンテストを初めて開催しました。広く一般の方からアイデアを募集したところ阿蘇市内をはじめ県内外から31作品の応募があり、2次審査に12作品が選出されました。審査は、熊本県菓子工業組合組織強化委員長を務める青木幸治氏（菓匠久幸

堂代表取締役社長）、阿蘇市地域振興マネージャー 前田香保里氏をはじめ、6名により行われました。厳正な審査の結果、グランプリには、熊本農業高校食品加工クラブの「阿蘇 de タルト」が選ばれました。阿蘇の特産品であるアスパラガスを使用し、タルト生地が山々を、アスパラで作ったババ

ロアでカルデラを表現した作品でした。また、準グランプリには、阿蘇の五岳をイメージした阿蘇清峰高校の「阿蘇五岳ジャムライスケーキ お土産セット」が選ばれました。入賞作品については、専門家の意見も交えながら商品化に向けた開発を進めていく予定です。



### 青木審査員の講評

「最終審査に残った方々は、年齢も10代から70代までと幅広く、又、全くジャンルの違う菓子が揃いました。皆様の阿蘇に対する熱い思いを含めた作品ばかりで、レベルの高い力作が多く、皆さまの真摯な取り組みに感謝致します。」



出品者と関係者の皆さんで記念写真を撮りました！



**市教育委員会が中学生職場体験活動で  
文部科学大臣表彰を受賞!**

**市**

教育委員会は、平成20年度の1年間、文部科学省からキャリア教育実践プロジェクト事業の指定を受け、実行委員会を立ち上げて市内の4中学校におけるキャリア教育の推進に取り組みました。

その後も継続して取り組んだキャリア・スタート・ウィーク(中学生による5日間の職場体験活動)等の取組の成果が評価され、市教育委員会が平成23年



度キャリア教育優良教育委員会文部科学大臣表彰を受賞しました。

教育委員会及び各小・中学校では、今後も引き続きキャリア教育の充実を図るべく取り組んでまいります。

小・中学生への職場見学、職業講話及び職場体験活動をお引き受けただいた方々に感謝いたしますとともに、市民の皆さまの今後のより一層のご協力をお願いいたします。



**キャリア教育とは**

児童・生徒に、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てることを目指す教育です。



**地域医療連携に関する  
講演会を開催**

**熊**

本県地域医療再生計画に沿って活動する阿蘇地域医療連携作業部会(事務局・阿蘇中央病院)による「阿蘇地域医療圏における地域医療連携に関する講演会」が、2月10日、阿蘇いこいの村で開催されました。

これは平成26年春に開業する阿蘇中央病院を軸とする医療連携を考え行われたもので、医療連携の先進地である荒尾市民病院の大嶋壽海院長が荒尾地域を例に講演したほか、熊大病院の甲斐豊特任教授が「阿蘇医療圏における急性期脳血管障害の現状と将来の展望」を、また、熊大病院

の西佳子助教が「阿蘇中央病院のリハビリテーションの現状」を講演し、参加した医療関係者120人は熱心に聴き入り質疑応答も盛んに行われました。



**熊日とNIE協定を結ぶ**

**平**

成24年2月21日、阿蘇市教育委員会は熊日新聞社とNIE協定を結びました。児童・生徒が新聞を生きた教材として活用することによって、言語活動を活発にし、読解力をはじめ思考力・判断力・表現力等の学力向上をめざすとともに、社会に関心を向けた人材を育成するなど幅広い人間形成に役立たせることを目的としています。協定を結んだことで、阿蘇市内の小中学校では、新聞記事や写真を整理した熊日のデータベースを利用できたり、熊日の方を講師として招いて、児童生徒だけでなく教師も対象にした出前授業を依頼することもできるようになりました。



▲協定を結び握手を交わす、松下編集局長(左)と日吉教育長

**NIEとは…**

Newspaper In Educationの略で、学校などで新聞を教材として活用することで、平成元年にスタート以来、全国で展開されています。